

● 採用案内

診療技術部 リハビリテーション室職員

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士



支えあい 分かち合い



医療法人 卓和会

藤井脳神経外科病院

Fujii Neurosurgical Hospital

脳神経外科疾患の急性期治療から、回復期過程へ ～笑顔と思いやりの365日リハビリテーションを～

当院の特徴

当院は、二次救急指定病院として、広域的に脳神経疾患の患者さんを受け入れており、急性期病棟および回復期リハビリテーション病棟を有しています。

急性期病棟は、ICU8床、一般病床48床の合計56床からなる病棟です。回復期リハビリテーション病棟は、病床数57床、回復期病棟施設基準Ⅰ、体制強化加算を算定取得しています。脳血管疾患症例が多く、身体の麻痺のみならず嚥下障害や高次脳機能障害を有する患者さんのリハビリテーションを365日実践しています。

急性期から慢性期にかけ、シームレスな医療の提供を目標にしており、患者さん、ご家族を含め、医師・看護師・リハビリテーション室療法士・薬剤師・栄養士・社会福祉士・診療放射線技師・検査技師等によるチーム医療を手掛け、患者さんがより良い状態で生活できるよう、スタッフ一丸となり退院に向けての支援を行っています。

現在49名（理学療法士：23名、作業療法士：13名、言語聴覚療法士：10名、音楽療法士：3名）で、患者さんのリハビリテーションに当たっています。当院医療スタッフは、すべての職種が「顔の見える関係」です。ともに支えあい、分かち合いながら日々楽しく充実した療法を行っています。

室長挨拶

平成5年3月に熊本リハビリテーション学院（現熊本総合医療リハビリテーション学院）を卒業して、同4月に当院に就職いたしました。アットホームな雰囲気、理事長をはじめ諸先生方が懇切丁寧に指導してくださり、気が付けば25年、微力ながら当院のリハビリテーション業務に携わってることができました。

栃木県は脳卒中死亡率が高いため、当院のように脳神経外科の病院や脳卒中に関わる理学療法士の需要が高い地域であります。脳卒中や脳外傷などのリハビリテーションは予後予測が難しく、治療方法や技術も多岐に亘るため、療法士にも高いスキルが求められます。また、チーム医療の推進の必要性が高い分野でもありますので、理学療法や作業療法といった内容にとどまらず、多職種への理解も必要とされます。そのため当院では入職後には3カ月程度スーパーバイザーと共に患者さんの評価や治療にあたり、また手術見学など他職の業務への理解を深める機会を設けております。3カ月以降も職場の先輩や、医学的内容に関してはリハビリテーション科医師をはじめとして脳神経外科医師とも適宜情報の共有を図れる体制にあります。また、療法士養成校から臨床実習を受け入れており、卒後も養成校の先生方とのつながりも大切にしています。

高齢化が進む中、脳卒中への療法士の需要はさらに高まっています。「脳卒中への理解を高めたい」「脳卒中患者の生活を支えたい」「自分のスキルを上げたい」当院ではそんな仲間を募集しています。共に学んで行きましょう。



リハビリテーション室長
丸山 慶久

参加発表学会、研究会

- 日本リハビリテーション学会
- 臨床脳神経外科学会
- 全日本病院学会
- 日本臨床医療福祉学会
- 理学療法学会・作業療法学会・言語聴覚学会
- 主催の各種学会・研修会

施設基準

- リハビリテーションに係る施設基準
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- 運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- 呼吸器リハビリテーション料（Ⅱ）
- 回復期リハビリテーション入院料Ⅰ（体制強化加算Ⅰ）

臨床実習受け入れ

- 国際医療福祉大学
- マロニエ医療福祉専門学校
- 熊本総合医療リハビリテーション学院
- 新潟医療福祉大学
- 太田医療技術専門学校
- 臨床福祉専門学校、群馬パース大学



理学療法（急性期）



急性期病棟では、全身状態の不安定な患者さんが多くを占めます。医師と相談の上、血圧変動や呼吸状態を見ながら早期離床を進め、1日でも早い日常生活への復帰を支援しています。

私は理学療法士として13年目、急性期病棟に配属となって11年目になります。急性期では、発症当日または翌日、手術翌日からリハビリテーションを始めます。脳血管疾患では、既往として高血圧症、高脂血症、糖尿病、心房細動等、様々な併存疾患を有している方が多いため、リスク管理が非常に重要となります。日々変化する患者さんの状態を適切に把握するためには、医師や看護師とのコミュニケーションが欠かせません。当院は電子カルテ等システムを導入し、様々な情報が得やすくなっただけでなく、多職種の方とも気軽にコミュニケーションが図れる職場です。現在の病状や、運動機能、高次脳機能、言語機能等の情報を多職種間で共有し、自宅退院や回復期病棟への転棟等がスムーズになるよう、支援しています。

当院主催のゴルフコンペの幹事もしています。ゴルフ仲間を募集していますので、ゴルフを始めたい方・すでに始めている方は声を掛けて下さい！

急性期・回復期の患者さんを対象に作業療法を行っています。主に上肢機能の改善や日常生活動作の自立、高次脳機能障害の改善に向けて患者さんの笑顔が見られるように日々取り組んでいます。

作業療法では急性期でリスク管理を行いながら早期離床や機能練習を行い、回復期では在宅生活に向けた日常生活動作練習や調理練習などの生活関連動作練習などを行っています。急性期病棟と回復期病棟を有しているため一貫したリハビリテーションが提供でき、患者さんの情報がスムーズに交換できることが当院の利点であると思っています。業務をする中で色々悩むこともありますが、作業療法室のみんなは明るく楽しい方が多いので、コミュニケーションがとりやすく相談もしやすい環境だと思っています。

プライベートでは身体を動かすことが好きなのでフットサルをしたり、冬はスノーボードをしたりして楽しんでいます。また、子供が2人いるのですが子供たちの成長を見るのも楽しみの一つで、年に一回の家族旅行はかせません。

言語聴覚療法



急性期病棟及び回復期病棟における言語聴覚療法の業務に携わっています。言語聴覚療法の対象となる主な障害は失語症を含む高次脳機能障害・構音障害・摂食嚥下障害になります。

実際の業務では経口での内服や食事摂取が可能かどうか、コミュニケーションにおいてどの程度の言葉（話し言葉や文字）を理解できているか、有効な表出手段は何かといった問い合わせに対して、適切かつ妥当な回答が出来る様に十分に確実な評価訓練が求められます。食事やコミュニケーションについてはSTだけでなく病棟ナースやPTOT、栄養士など他職種、家族等が関わる人も多く、定期的実施されるカンファレンスや病棟回診、他職種との話し合い、家族との関わり合いなどを通し、チームでの医療提供を行っています。

私生活では2人の子供を持ち夫婦共働きで日々の生活を送っています。子供の成長過程や家族の状況変化によって様々な問題に直面しますが、理解ある上司や同僚、頼りになる院内保育所の保育士さん達に支えてもらいながら充実した日々が送れています。

回復期リハビリテーション病棟は、安心した在宅生活が送れるよう、個々の患者さんに応じたリハビリテーションの提供を行い、在院時からケアマネージャーや地域支援スタッフとの連携をとります。

回復期病棟では、生活の基盤となる基本動作、移動能力の獲得を目指し、エビデンスに基づいた理学療法を実施しています。中枢神経疾患を有する患者さんがほとんどであり、重症な患者さんも多い病棟ですが、明るく熱心なスタッフが、訓練室や病棟を縦横無尽に行き来し、患者さんと共に汗を流している職場です。

休日には、家族（妻一人、双子の小学生の娘たち）と一緒に家庭菜園で野菜を育て、土にまみれながら収穫を楽しみにしています。また、当院の職員スキー旅行をきっかけに20年ぶりにスキーも活動再開し、なまった体にムチ打ってプライベートも仕事も楽しんでいます。

作業療法



理学療法（回復期）



急性期のみならず回復期リハビリテーションや慢性期に至るまでの、幅広い診療に従事できる人材の育成を目指しています。

意欲あるこれまでの多くの協力者に感謝しつつ、これからの地域を支援する多くの参加者を希望します。

理事長 藤井 卓

勤務体制

作成日：2020.10.01

勤務時間	8:30 ～ 17:30
勤務体制	25 人体制（休日 15 人体制）
休 日	週休 2 日制（月 2～3 日の休日出勤あり）
ワークライフバランス（働き方改革）に、病院全体で積極的に取り組んでいます。 （産後・育児等から復職された職員が、生活のリズムに合わせて時間短縮での勤務を行っています。 例）出勤 9:00 退勤 15:00）	
病棟カンファレンス	急性期病棟 毎週金曜日の 1 回 回復期病棟 月～金曜日のうち 3 ～ 5 回



福利厚生

各種社会保険加入 退職金制度 労災保険 住宅補助（条件付き） マイカー通勤可
駐車場無料 職員用保育所 結婚祝金 出産祝金等の慶弔 院内食堂

年間行事

月	行事	月	行事
4 月	新入職員オリエンテーション、新入職員歓迎会、永年勤続表彰	10 月	院内コンサート
5 月	院内コンサート、消防訓練、職員定期健康診断、看護の日イベント	11 月	消防訓練、高校生社会体験学習
6 月	院内研究発表会、中学生職業体験学習、院外市民健康講座	12 月	忘年会、院内クリスマス会
7 月	院内合同納涼祭、ビアパーティー、ゴルフコンペ	1 月	診療技術部新年会
8 月	お盆休暇	2 月	日帰りスキー旅行
9 月	防災訓練	3 月	



職員用保育所

入所対象 主に 0 才～就学前
保育時間 AM8:00～PM6:00 準夜 PM5:00～AM2:00
施設概要 乳児保育室 1 室、幼児保育室 1 室、幼児仮眠室 1 室、調理室、
子供専用シャワー室、トイレ、冷暖房完備、遊具室など



乳児からお願いして、
安心して仕事ができます。

保育料（食事代込み）

常時利用の場合

- ・乳児（0 歳～2 歳未満）・月額 11,000 円
- ・幼児（2 歳～就学前）・月額 10,000 円

臨時利用の場合

- ・乳児（0 歳～2 歳未満）・半日：500 円、1 日：1,000 円
- ・幼児（2 歳～就学前）・半日：450 円、1 日：900 円



お問い合わせ先

藤井脳神経外科病院 担当：総務課 TEL:028-673-6211 e-Mail：fujiihp@apricot.ocn.ne.jp